

やさしい問題から超難問まで！この夏は数学が隠れている「パズル」に大注目！  
夏の特別企画展「パズル島へようこそ 2021」  
7月22日(木)～9月5日(日)開催！

多摩六都科学館（東京都西東京市、館長：高柳雄一）では、7月22日（木）より夏の特別企画展「パズル島へようこそ 2021」を開催いたします。数学の表現方法の1つである「パズル」をとりあげ、パズルそのものを楽しみながら、その数学的な背景に着目し、数学の面白さや奥深さについて考える機会を提供します。

■企画概要 ※「パズル島へようこそ 2021」は定員・時間入れ替え制です。※級によって体験できるパズルが異なります。

- 【名称】夏の特別企画展 「パズル島へようこそ 2021」
- 【期間】7月22日（木）～9月5日（日）  
※9/1～3は休館
- 【定員】初級：6組 24名 中級：12組 24名 上級：12組 24名
- 【時間】①10:00～10:45（中級）②11:00～11:45（初級）③12:00～12:45（上級）  
④14:00～14:45（中級）⑤15:00～15:45（初級）⑥16:00～16:45（上級）
- 【対象】どなたでも参加できます ※小学2年生以下は保護者と参加
- 【会場】多摩六都科学館 B1F イベントホール
- 【料金】入館料のみ（大人520円、4歳～高校生210円）
- 【参加方法】当日、開館時よりエントランスホールで参加券を配布します（先着順）
- 【協力】国立大学法人 北陸先端科学技術大学院大学、名古屋大学博物館、東京理科大学 数学体験館  
学校法人 自由学園、日本テレレーションデザイン協会、LLP ASOBIDEA（アソビディア）  
株式会社ハナヤマ（順不同）



■展示概要 参加者は、パズル島を訪れた旅人として、島で出会った動物たちが困っている問題の解決のために、様々なタイプのパズルに挑戦します。パズルは初級・中級・上級に分かれており、参加者は自分に合った級を選択し体験することができます。子どもから大人まで多くの利用者が楽しめるアイテムをそろえています。

★各回、体験時間45分以内で好きなパズルから解いていきます。

| レベル | 難易度          | 10:00 | 11:00 | 12:00 | 14:00 | 15:00 | 16:00 |
|-----|--------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 初級  | 初めてパズルで遊ぶ人向け |       | ●     |       |       | ●     |       |
| 中級  | パズルに慣れてきた人向け | ●     |       |       | ●     |       |       |
| 上級  | 超難問に挑みたい人向け  |       |       | ●     |       |       | ●     |

ライオンの雑貨屋さん

位相幾何学（トポロジー）的な考え方のパズル



サイズや形にこだわらないグッズを取りそろえたい



シロクマの引っ越し屋さん

図形の繰り返しや配置を考えるパズル



すきまを減らしてあれもこれも、もっと詰めこみたい



ワニのセールスマン

地図をデザインした、ループを完成させる当館オリジナルのパズル



ばらばらになってしまった、行き方が描かれた地図を直したい



カンガルーの建築家

ハノイの塔など、繰り返しの操作を伴うパズル



塔や橋の組み立て方の順番が気になります



※中級・上級のみ

ペンギンの数学者

一筆書きやペグソリティアなど、初期条件や途中の過程が重要なパズル



「解けない」問題がなぜ解けないか証明したい



※パズルは一例です。実際のパズルと異なる場合があります

・同時開催！2つの特別展示

数学は自然科学に比べ抽象的で、取り上げることが難しい分野ですが、自然科学を支える概念や記述方法に関わる重要な学問です。本展ではイベント会場以外でも、数学にまつわる特別展示を開催。貴重なパズルのコレクションや、ポスター展示などを通して、数学やパズルの様々な側面を紹介します。

パズル島の宝物 (イベントホール前)

世界的なパズル作家であった  
芦ヶ原伸之氏のコレクション  
から珠玉の5点を展示します。



画像提供：北陸先端科学技術大学院大学

美しい数展 (展示室1と2の間)

名古屋大学博物館や東京大学柏図書館  
で開催された「美しい数学」を展示。  
私たちの身の回りに隠れている、美  
しい数学の世界を紹介します。



展示イメージ /  
画像提供：名古屋大学博物館

・注目！専門家から学ぶ関連イベント

「数学」の専門家の方々から、数学の魅力をたっぷり学べる機会を提供します。(要事前申込)

〈ロクトサイエンスレクチャー〉

しきつめパズルのひみつ ～テセレーションのデザイン～

7/23(金)、9/4(土)



身の回りを探してみると、同じ形が繰り返されている「しきつめ」を見つけることができます。どのような形がしきつめられてきて、個性的なデザインになるのかお話しします。後半は正三角形の T3 パズルを並べて、くり返しの模様やデザインを考えます。

〈講師〉

荒木 義明

1973年生まれ。博士(政策・メディア)  
数学者、専門は敷きつめ模様の数理  
全国各地の学校、科学館、美術館などでワークショップ・出張授業を行う

〈ロクトサイエンスレクチャー〉

「美しい数学」から見える世界

8/7(土)



「数学は答えがひとつに決まるから好き」という人もいますが、本当はいろいろな考え方ができる自由な学問です。数学を使うと、図形や数字の規則性を見つけたり、複雑なものを整理できたりします。今回は身近な事象やパズルなどを例に、数学のものの見方についてお話しします。

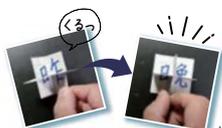
〈講師〉

伊藤 由佳理

東京大学 Kavli 数物連携宇宙研究機構 教授  
専門は代数幾何学で特異点を研究している  
著書に『美しい数学入門』(岩波新書)がある

〈J I Y Uサイエンススクール〉

回転漢字パズルを作ろう



作品見本(動画)▼  
[https://youtu.be/PTsUs\\_kjTaM](https://youtu.be/PTsUs_kjTaM)

8/14(土)、15(日)



子どもから大人まで楽しめる学びの機会を提供することを目的とする学校法人自由学園と多摩六都科学館の共催事業です。回転させることで見える面が変わる紙工作をし、見える面、見えない面があることを活かしたパズルになるように、漢字やイラストなどの組み合わせを考えます。

〈講師〉

高田 貴

学校法人自由学園 数学科教諭  
オリジナルで正20面体、正12面体を作成するなど  
さまざまな立体模型の作成・研究にも取り組んでいる

プレス内覧会のご案内

7月21日(水) 15:00 ~ 16:00

●実際にパズルを体験していただけます

●会場内の撮影も可能です

※パズルの正解などが映らないようご配慮ください

ご参加の場合は、広報担当まで次の内容をお知らせください

➡ 御社名(媒体名)、人数、駐車スペース(要・不要)

※イベントの詳細は別紙またはウェブサイトをご覧ください。

多くの利用者が安全に楽しめる会場づくりを実施しています

感染対策として、会場内の換気状態を計測し、参加者が安全に身体距離を保って運営できるよう、適正値を割り出して場内人数を設定しています。本展では定員制・時間入れ替え制で実施し、各級の間に入れ替え時間にパズルの消毒作業を行います。来館者にはマスクの着用と手指消毒の協力を促し、幅広く多くの利用者が安全に楽しめるような会場づくりをしています。

新型コロナウイルス対策について詳細はこちらをご覧ください ➡ <https://www.tamarokuto.or.jp/blog/rokuto-report/2021/05/31/reopen/>

本件に関する  
問い合わせ先

多摩六都科学館 広報担当(石山・廣江)まで

〒188-0014 東京都西東京市芝久保町5-1-0-64

TEL: 042-469-6100(代表) 042-469-6984(広報直通)

web: <https://www.tamarokuto.or.jp/>

mail: [info2@tamarokuto.or.jp](mailto:info2@tamarokuto.or.jp)